

2-3 植 栽 工

植栽特記仕様書（参考資料）

形 状	幹周 (cm)	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	鉢容量 (m3)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	客土量 (m3)	土壤改良剤 (kg)
高 木	10未満	33	25	0.017	69	37	0.073	1.46
	10以上15"	38	28	0.028	75	40	0.112	2.24
	15" 20"	47	33	0.061	87	46	0.209	4.18
	20" 25"	57	39	0.11	99	53	0.330	6.60
	25" 30"	66	45	0.17	111	59	0.480	9.60
	30" 35"	71	48	0.21	117	62	0.550	11.00
	35" 45"	90	59	0.40	141	75	0.940	18.80
	45" 60"	113	74	0.74	171	90	1.540	30.80
	60" 75"	141	91	1.32	207	109	2.380	47.60
	75" 90"	170	108	2.08	243	128	3.370	67.40

形 状	樹高 (cm)	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	鉢容量 (m3)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	客土量 (m3)	土壤改良剤 (kg)
中 低 木	30未満	15	8	0.001	29	23	0.014	0.28
	30以上50"	17	10	0.002	33	26	0.020	0.40
	50" 80"	20	12	0.004	37	28	0.026	0.52
	80" 100"	22	13	0.005	41	31	0.035	0.70
	100" 150"	26	16	0.008	46	35	0.049	0.98
	150" 200"	30	19	0.013	54	40	0.077	1.54
	200" 250"	35	23	0.022	61	46	0.111	2.22
	250" 300"	40	26	0.032	69	51	0.156	3.12

札幌市造園工事 標準図 札幌市建設局みどりの推進部	特 記 仕 様	図面名称 樹木植栽仕様一覧表	
		縮 尺 —	番 号 2-3-1

特定樹木の植穴

株立物

規格寸法	適用する規格
H=2.0以下	下木あつかい
H=2.5 W=1.0~1.5	C=0.12
H=3.0 W=1.2~1.5	C=0.15
H=3.5 W=1.8	C=0.18
H=4.0 W=1.5~2.0	C=0.20
H=4.5 W=2.5	C=0.25

ハイバクシン

規格寸法	適用する規格
W=0.3	H=0.3
W=0.6	H=0.6
W=0.9	H=1.0

仕立物

規格寸法	適用する規格
H=1.2	C=0.18
H=1.5	C=0.20
H=1.8	C=0.25
H=2.0	C=0.3
W=0.3	H=0.8
W=0.4~0.5	H=1.0
W=0.6	H=2.0
W=0.8~0.9	C=0.18

注) 仕立物の下枝は、地際より10~15cm程度のところまでなければならない。

幹周表示のない松類

規格寸法	適用する規格
H=2.0以下	下木あつかい
H=2.5	C=0.12
H=3.0	C=0.15
H=3.5	C=0.2
H=4.0	C=0.25

モンタナマツ

規格寸法	適用する規格
W=0.3	H=0.3
W=0.4	H=0.5
W=0.6, 0.7	H=0.8
W=0.9	H=1.0

※ 幹周表示のない松類以外の高木について
2.0 ≤ H < 3.0は、C<0.1の規格とする。

○ 支柱

規格 (m)	支柱名	
	(ア)	(イ)
樹高 1.5~2.5	添柱形(1本形)	———
〃 1.5~3.5	八ツ掛(竹)	八ツ掛
幹周 0.09, 0.12, 0.15, 0.18, 0.20, 0.25	二脚鳥居	二脚鳥居 (添木付)
〃 0.30, 0.35, 0.45	三脚鳥居	十字鳥居
〃 0.45, 0.60, 0.75, 0.90	二脚鳥居合せ支柱	八ツ掛
〃 0.20, 0.25 (株物・松類含む)	八ツ掛	———

注) 支柱(ア)を標準とする。ただし、樹種・植栽場所の条件などによっては、この限りでなく設計図書熟知の事。

- 土壌改良剤は客土1m3 当り植樹用で20kg使用を標準とする。(芝生用は別途考慮のこと)
- 樹木の周りを芝付する時は、下表により芝を控除する。

1) 高木

幹周	控除寸法(直径)
9cm以上~15cm未満	φ0.8 m
15cm以上~20cm未満	φ0.9 m
20cm以上~25cm未満	φ1.0 m

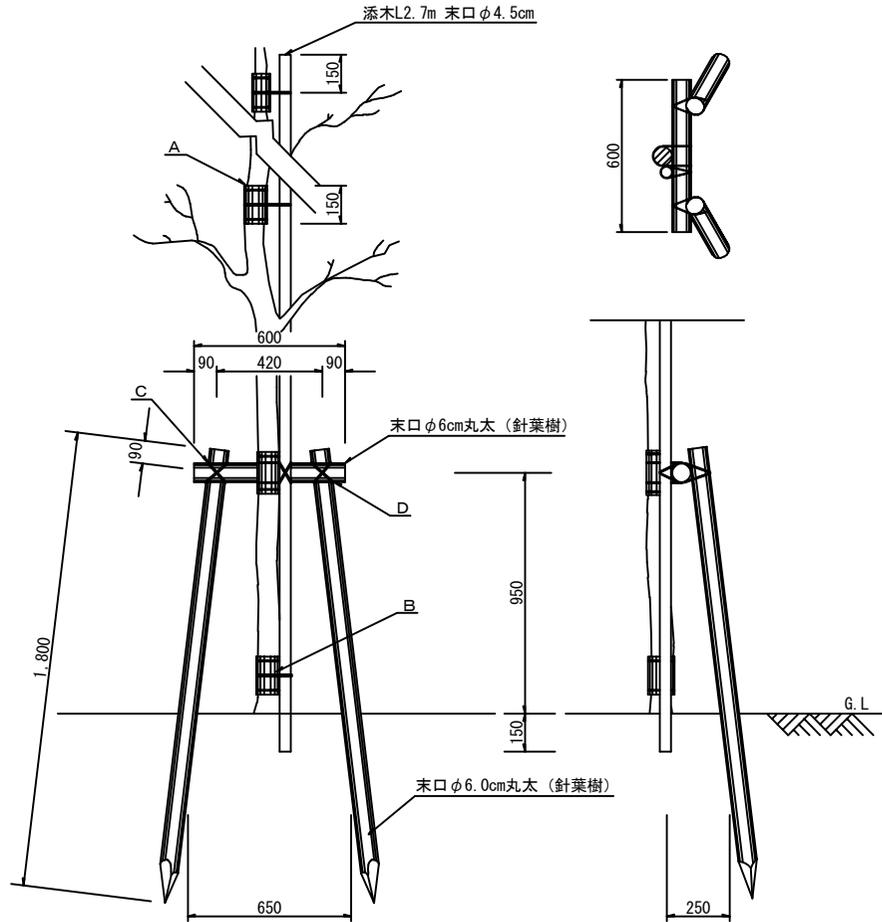
※ 幹周が25cm以上及びこれによりがたい場合は、監督員の指示によること。

2) 低木

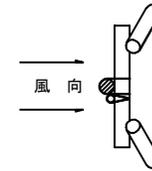
控除寸法(直径)
φ0.8 m

※ 寄せ植は、監督員の指示によること。

二脚鳥居型支柱(添木) 幹周0.09m・0.12m・0.15m・0.18m・0.20m・0.25m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削りとのこと。(添木部分は除く)
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 支柱の方向は原則として夏期の常風に対して横木が直角になるよう設置すること。



- ※なお、列植等の場合は監督員の指示によること。
4. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
 5. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 10~30cm	
B 棕梠縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 垂鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

※風等で幹折の可能性のある樹木に適用。

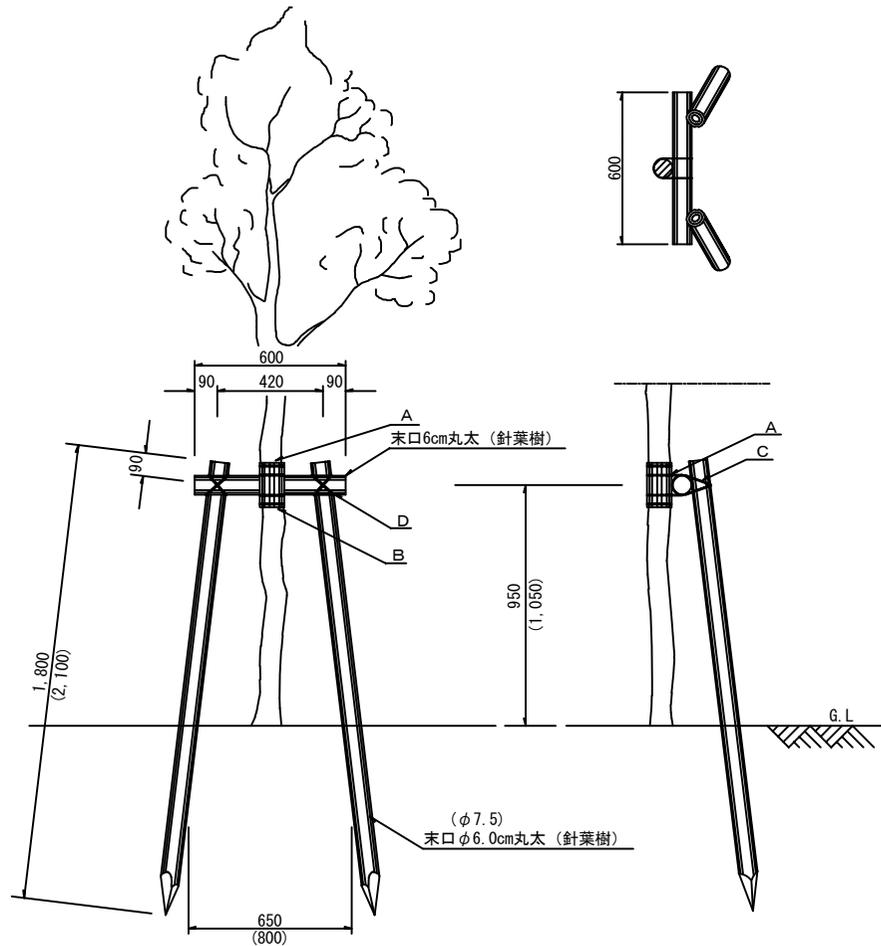
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

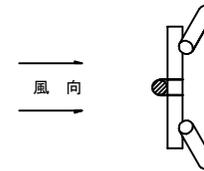
図面名称
二脚鳥居型支柱(添木付)

縮尺	1/30	番号	2-3-3
----	------	----	-------

二脚鳥居型支柱 幹周0.09m・0.12m・0.15m・0.18m・0.20m・0.25m



- 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
- 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
- 支柱の方向は原則として夏期の常風に対して横木が直角になるよう設置すること。



※なお、列植等の場合は監督員の指示によること。

- 丸太杭の先端は、3面削りとする。
- 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 20~40cm	
B 棕呂縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 亜鉛引鉄線	# 16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

() 内寸法 → B型 (泥炭等の軟弱地盤に使用)

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

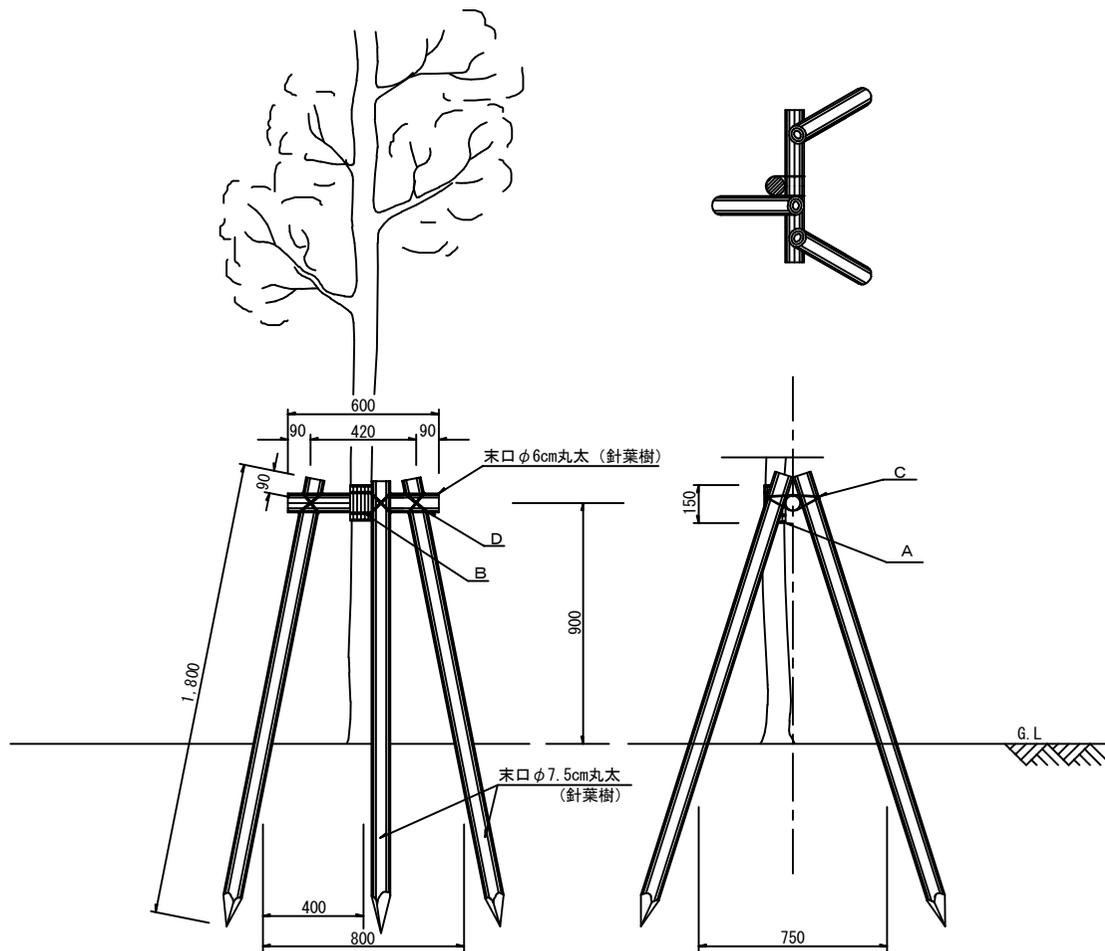
特記仕様

図面名称
二脚鳥居型支柱 (A・B)

縮尺	1/30	番号	2-3-4
----	------	----	-------

三脚鳥居型支柱

幹周0.30m・0.35m・0.45m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
4. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

支柱取付仕様

名称	寸法	摘要
A 保護材	巾 15cm L 30~50cm	
B 棕招縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 亜鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

三脚鳥居型支柱

縮尺

1/30

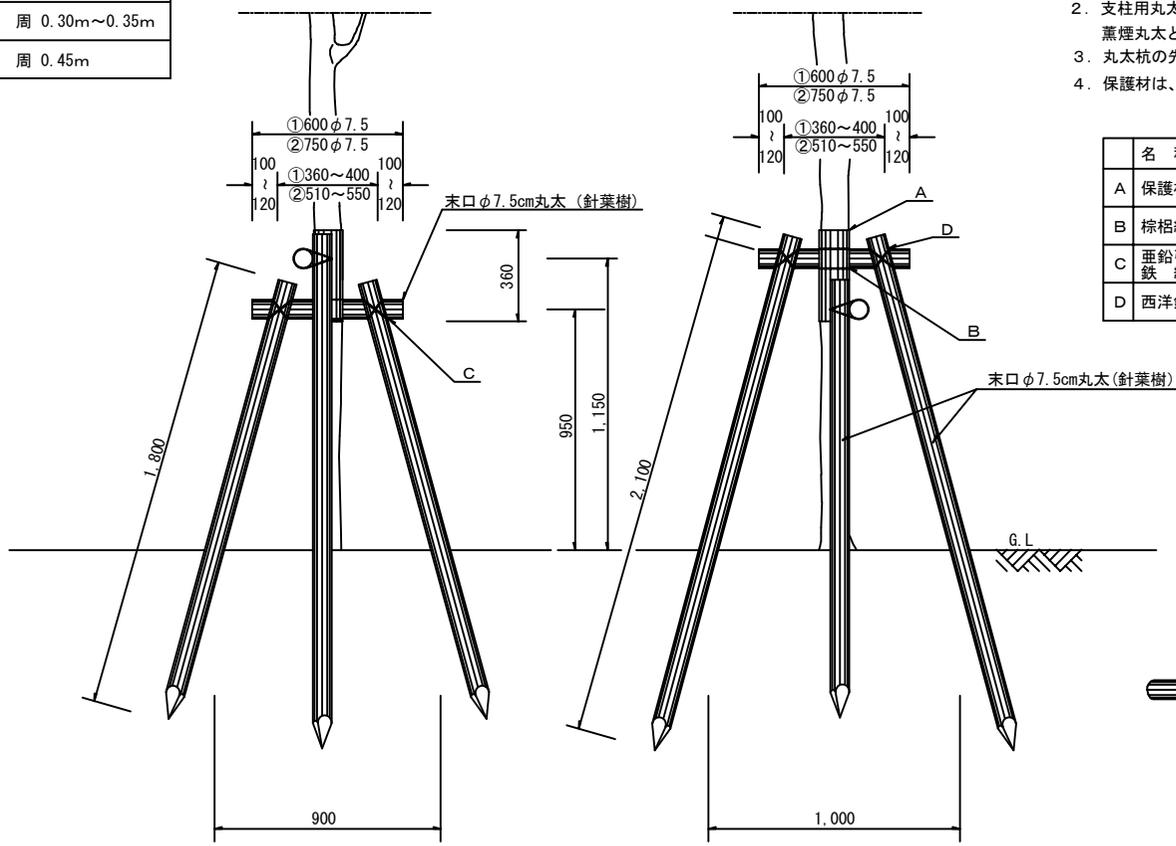
番号

2-3-5

十字鳥居型支柱

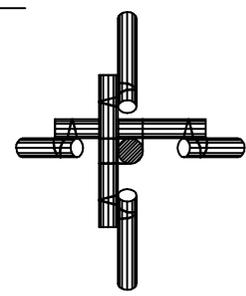
幹周0.30m・0.35m・0.45m

記号	規格
①	幹周 0.30m~0.35m
②	幹周 0.45m



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、薰煙丸太とする。
3. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
4. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

名称	寸法	摘要
A	保護材 巾 36cm L 40~90cm	
B	棕梠縄	赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C	垂鉛引鉄線 #16	割を入れる
D	西洋釘 L 12cm	丸太の中央に 打ち込む



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

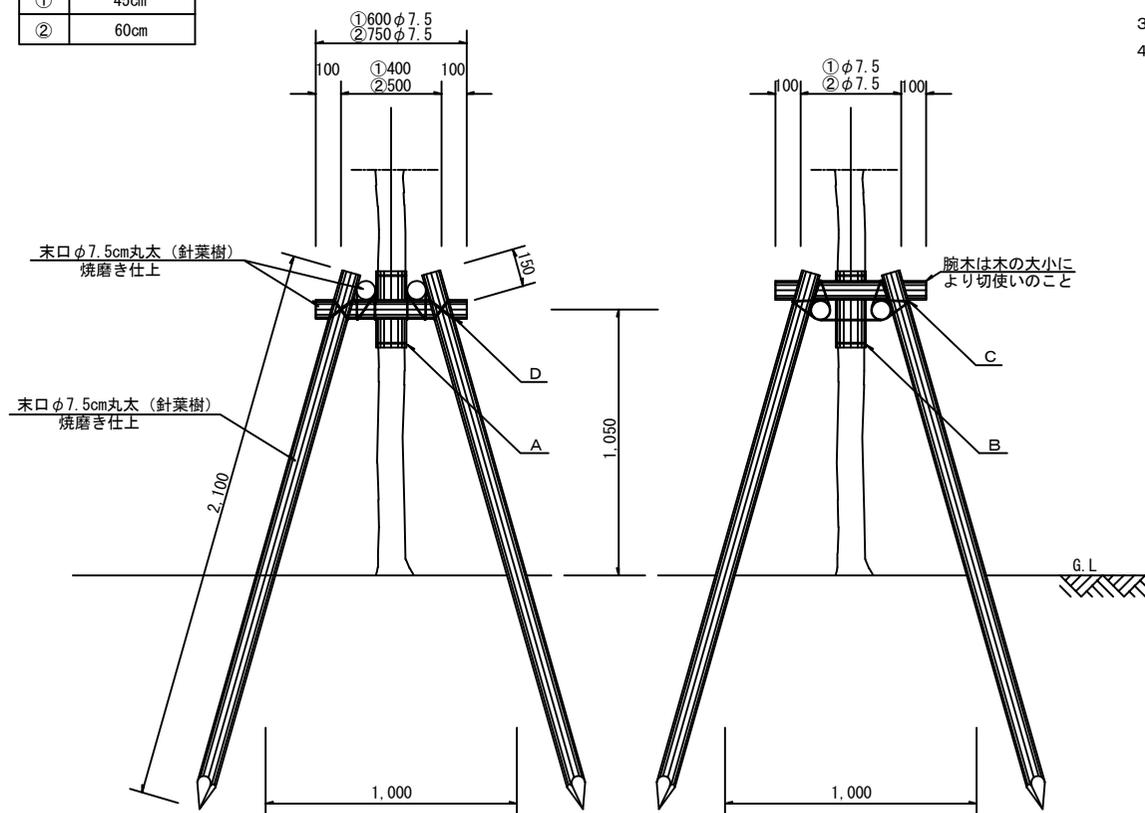
特記仕様

図面名称
十字鳥居型支柱 (A・B)
縮尺 1/30
番号 2-3-6

二脚鳥居合せ支柱

幹周0.45m・0.60m・0.75m・0.90m

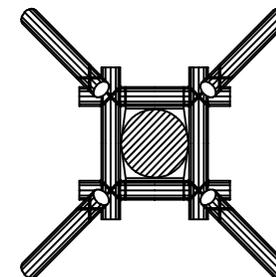
記号	規 格
①	45cm
②	60cm



1. 丸太相互の接合箇所は横木に喰い込ませるよう削り取ること。
2. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
3. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
4. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

支柱取付仕様

名 称	寸 法	摘 要
A 保護材	巾 30cm L 50~90cm	
B 棕枙縄		赤縄2本使用 2回巻(割を入れる)
C 亜鉛引鉄線	#16	割を入れる
D 西洋釘	L 12cm	丸太の中央に 打ち込む



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
二脚鳥居合せ支柱 (A・B)

縮尺

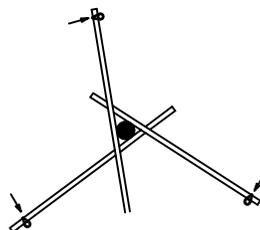
1/30

番号

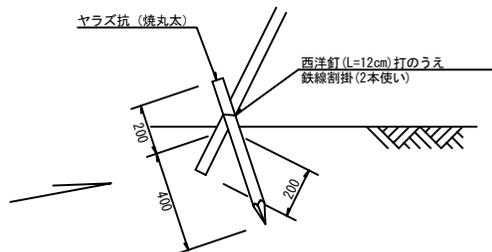
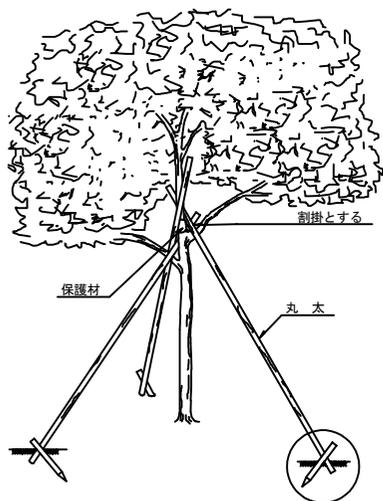
2-3-7

八ツ掛支柱

記号	規 格
A	H=3.5~4.5 松類、株立物舎
B	H=5.0~6.0 "
C	H=7.0~9.0 "



1. 樹木と支柱の結束高は樹高の2/3とする。
2. 丸太相互の結束部は亜鉛引鉄線#16で結束する。
3. 樹木と丸太の結合部は樹木に保護材を当て、棕梠縄（赤）で結束する。
4. 支柱用丸太は針葉樹とし、皮をはぎ焼磨き仕上げ又は、熏煙丸太とする。
5. 丸太杭の先端は、3面削りとする。
6. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。



型	焼丸太 (3本)	ヤラス杭 (3本)
A	末口φ4.5cm L 2.7m	末口φ6.0cm L 0.6m
B	末口φ4.5cm L 3.6m	末口φ6.0cm L 0.6m
C	末口φ3.0cm L 6.3m	末口φ6.0cm L 0.6m

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
八ツ掛支柱(A・B・C)

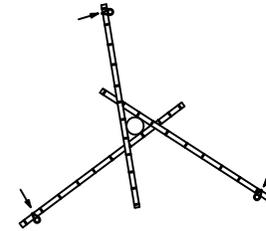
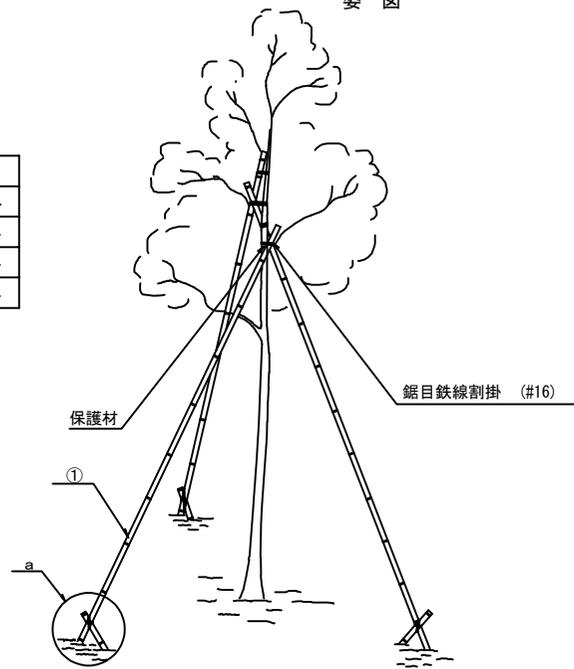
縮尺	1/30	番号	2-3-8
----	------	----	-------

ハツ掛（竹）支柱

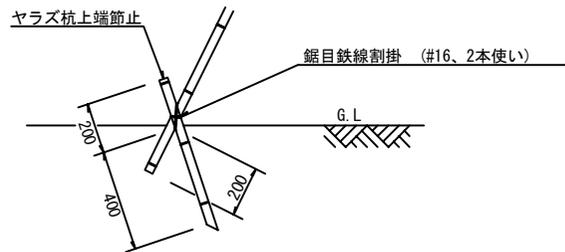
(晒竹三本支柱)

記号	内容	規格
A	株物・松類	H=1.5m内外
B	"	2.0m内外
C	"	2.5m内外
D	単幹を含む	3.5m内外

姿図



a部詳細図



1. 樹木と支柱の結束高は樹高の2/3とする。
2. 支柱、ヤラズ杭の上端は節止めとする。
3. 必ず結束部分にノコ目を入れる。
4. 晒竹の直径寸法は、三節上とする。
5. 樹木と晒竹の接合部は、樹木に保護材を当て棕櫚縄（赤）にて結束のこと。（割掛とする）
6. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

①

記号	直径 (cm)	長さ (m/本)	樹木100本相当竹使用量 (本/100本)
A	3.0	1.3	150
B	3.0	1.6	175
C	3.0	1.8	200
D	3.0	2.5	300

※竹3.9m/本

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 晒竹の規格及び長さについては参考寸法とする。

図面名称

ハツ掛（竹）支柱

縮尺

1/30

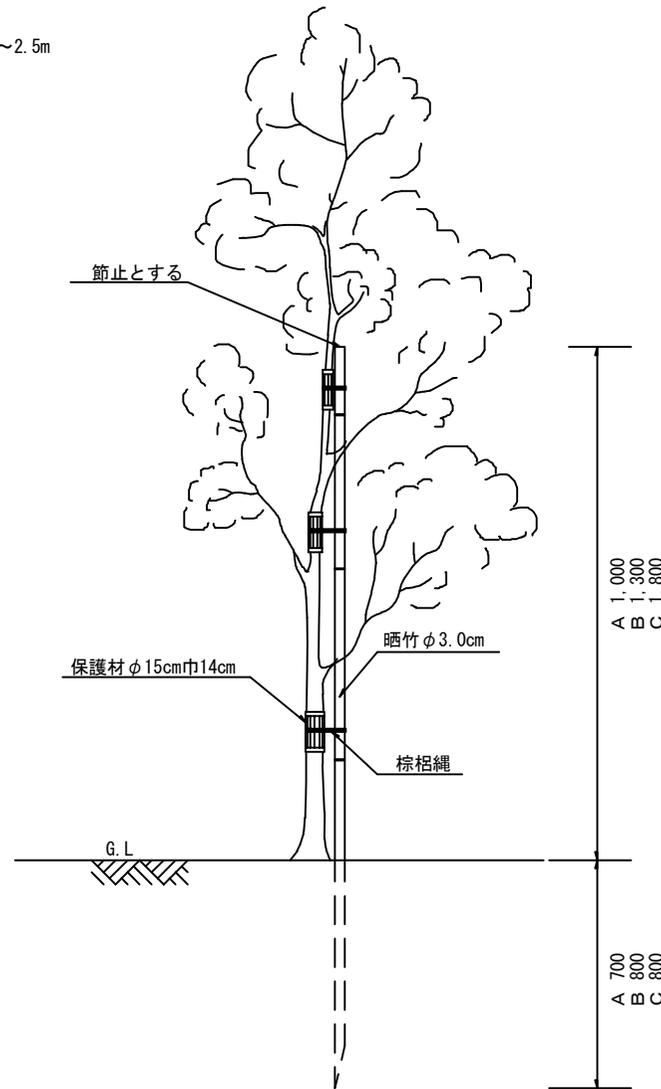
番号

2-3-9

添柱形（一本形）支柱

（晒竹1本支柱） 樹高1.5m～2.5m

記号	規 格
A	樹高1.5m内外
B	“ 2.0m “
C	“ 2.5m “



1. 棕栢繩は赤繩2本使用2回巻（割を入れる）
2. 晒竹の直径寸法は、三節上とする。
3. 保護材は、杉皮、杉テープ又は同等品以上とする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

1. 晒竹の規格及び長さについては参考寸法とする。

図面名称

添柱形（一本形）支柱

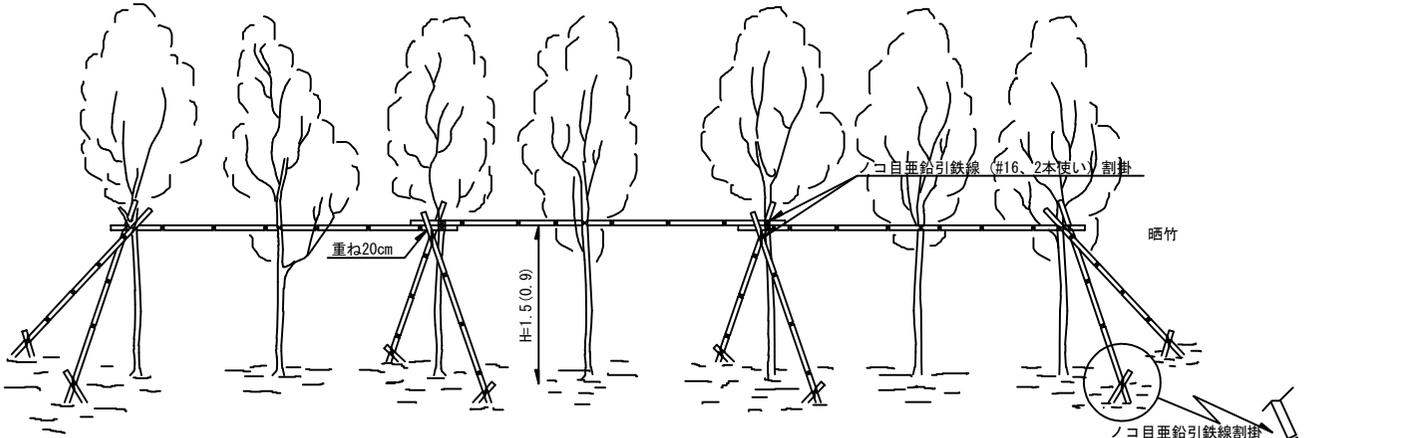
縮尺

—

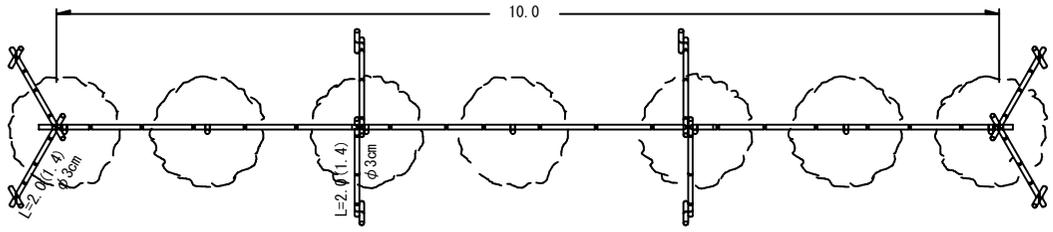
番号

2-3-10

	摘 要
布掛(竹)支柱A	支柱10m当りH2.0m~2.5m内外の上木5~8本/10m (樹間<2.0m)に使用
布掛(竹)支柱B	支柱10m当りH1.5m内外の針葉樹10~15本/10m (樹間<1.0m)に使用



※ () 内の寸法B支柱



平面図

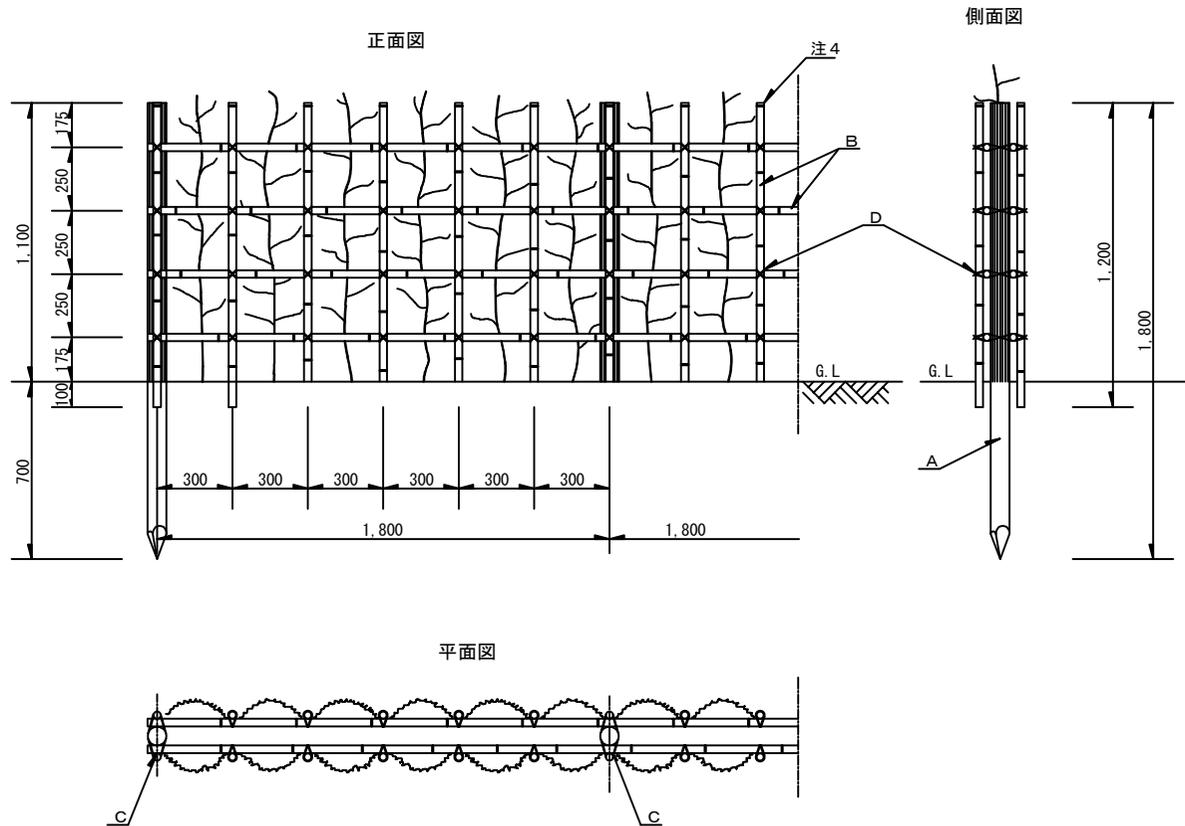
札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
- 支柱・ヤラズ杭の上端は節止とする。
 - 結束部には必ずノコ目をいれる。
 - 晒竹の直径寸法は3節上とする。
 - 晒竹の規格及び長さについては参考寸法とする。

図面名称		布掛(竹)支柱	
縮尺	—	番号	2-3-11

生垣 (H=1.1m)

凡 例



記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.8m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薰煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m ³)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.094	1.88
客土なし	—	1.88

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は原則としてH=1.2m以上とする。
- 樹木は四ツ目垣に棕梠縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣A)

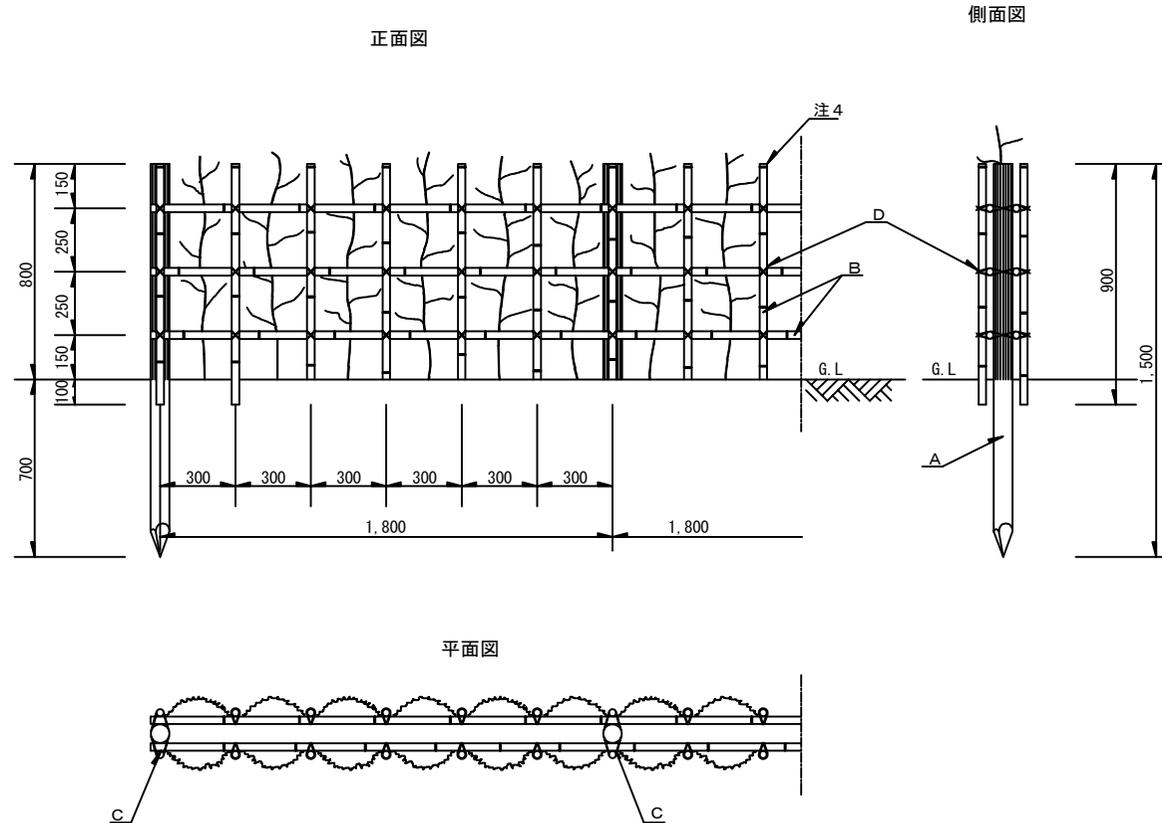
縮尺

1/30

番号

2-3-12

生垣 (H=0.8m)



凡例

記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.5m	針葉樹焼磨 仕上又は、 熏煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m ³)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.103	2.06
客土なし	-	2.06

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は、原則としてH=0.9m以上とする。
- 樹木は四ツ目垣に棕梠縄（黒）にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は、30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし、溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣B)

縮尺

1/30

番号

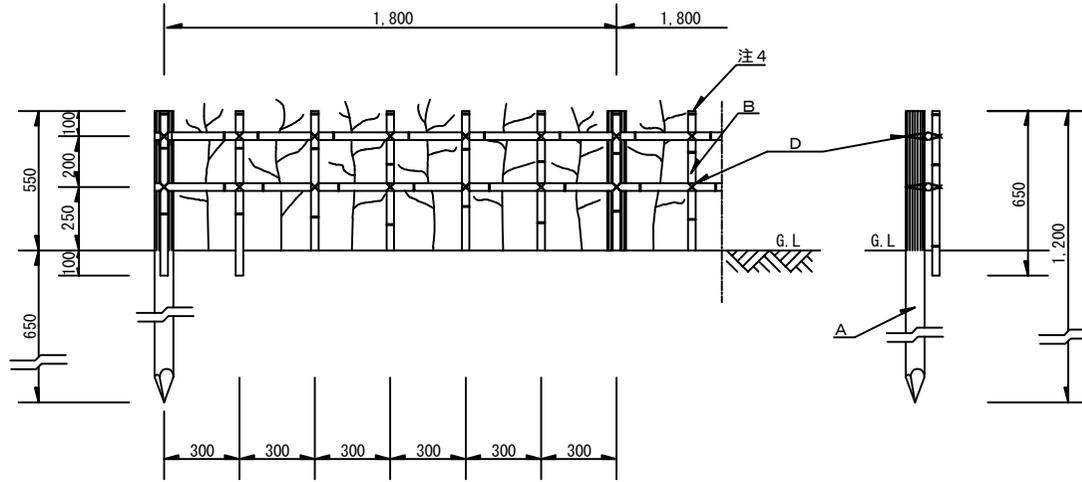
2-3-13

生垣 (H=0.6m)

正面図

側面図

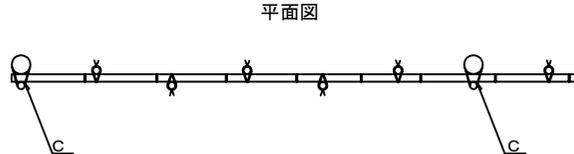
凡例



記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.2m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薫煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梶縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m3)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.077	1.54
客土なし	-	1.54

平面図



- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は、原則としてH=0.6m以上とする。
- 樹木は、四ツ目垣に棕梶縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cmはなすこと。
- 床掘は幅30cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記
仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣C)

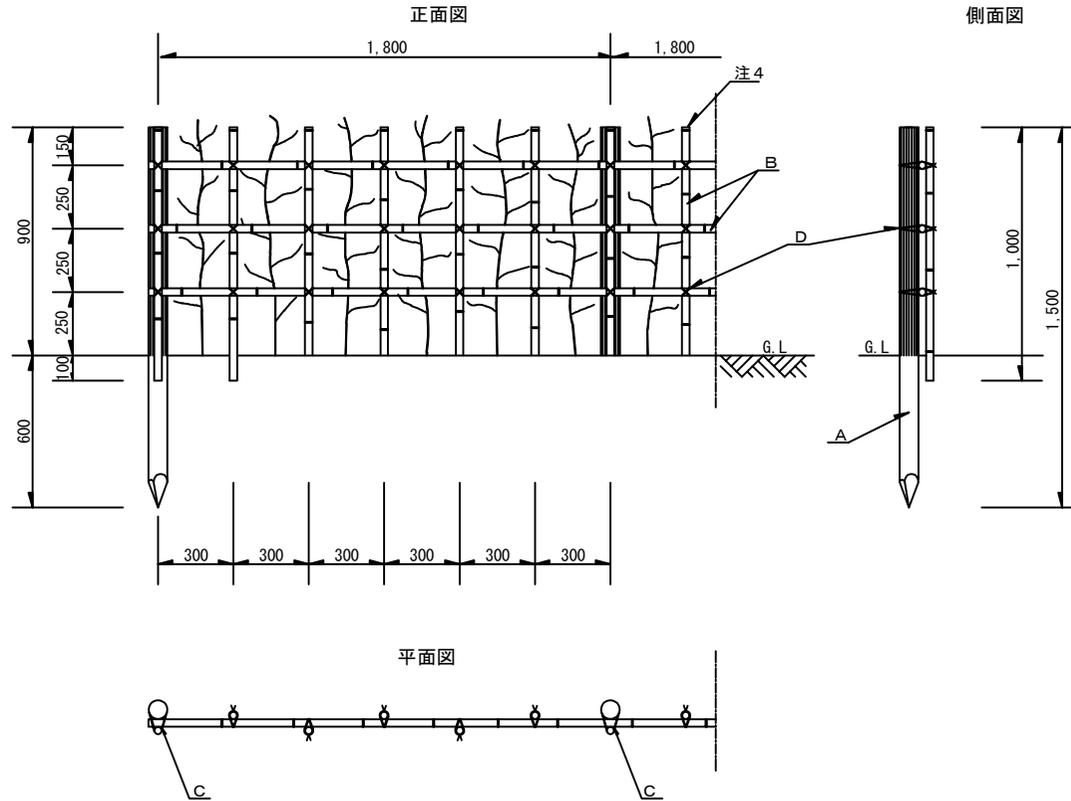
縮尺

1/30

番号

2-3-14

生垣 (H=0.9m)



凡例

記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.5m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薫煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)		
	客土量 (m ³)	土壌改良剤 (kg)
客土あり	0.094	1.88
客土なし	-	1.88

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は、原則としてH=1.0m以上とする。
- 樹木は四ツ目垣に棕梠縄（黒）にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は、節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記
仕様

図面名称

生垣 (四ツ目垣D)

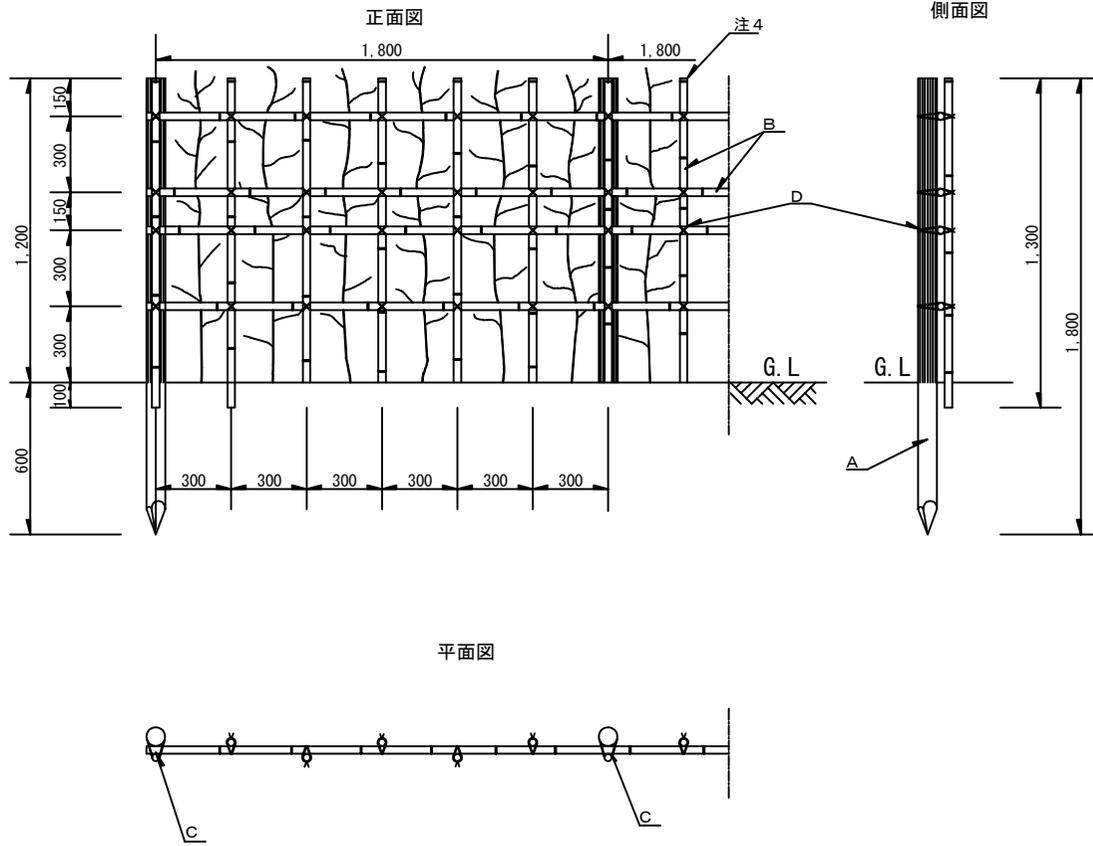
縮尺

1/30

番号

2-3-15

生垣 (H=1.2m)



凡 例

記号	名称	規格	内容
A	丸太	末口φ7.5cm 長さ1.8m	針葉樹焼磨 仕上又は、 薰煙丸太と とする。
B	晒竹	φ3.0cm	三節上り
C	西洋釘	長さ6.5cm	
D	棕梠縄	φ3mm	黒

(m当り)

	客土量 (m3)	土壤改良剤 (kg)
客土あり	0.094	1.88
客土なし	-	1.88

- 晒竹接合部は、5cm程度食い込ませること。
- 樹木は原則としてH=1.3m以上とする。
- 樹木は、四ツ目垣に棕梠縄(黒)にて結束すること。
(1ヶ所/本)
- 晒竹の上端は節止めとする。
- 樹木間隔は30cmを標準とする。
- 生垣は、原則として道路境界から50cm離すこと。
- 床掘は幅40cm、深さ30cmとし溝状に掘ること。
- 丸太杭の先端は3面削りとする。

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称
生垣 (四ツ目垣E)
縮尺 1/30
番号 2-3-16